

まだ日本語に訳されていない 障害のある人達のための本、 障害のある人達を描いた本

外国で出版された、障害のある人達のための本、障害のある人達を描いた本で、日本語に訳されているものはかなりあります。しかし、日本語に訳されていない本もあります。ここでは、日本語にまだ訳されていない外国語の本を展示しています。

(聴覚障害・手話)

- 1) The handmade alphabet (手で作るアルファベット) / Laura Rankin. New York Dial Books c1991. 当館請求記号(Y5-A35)
(出版国 アメリカ) 手話と、その文字で始まる事物を描いています。
- 2) Blæksprutter prutter : tosserier med tegn (たこがおなら:手話で支離滅裂な詩) / illustrationer af Hanna Orlof ; ide og tekst af Eia Guldborg og Malene Lytting. København KC-Center for Tegnsprog og Tegnstøttet Kommunikation c1996. 当館請求記号(Y17-B3892)
(出版国 デンマーク) 聴覚障害のない子どもたちが、言葉遊びをしながら、言語能力を高めていくように、聴覚障害の子は手話を使って言語能力を高めていきます。聴覚障害の子の言葉遊びは、手の動き、顔の表情を使って行なわれます。同じような位置や、動きをちょっと変えただけで、違う単語になります。描かれている手の位置、顔の表情をご参照ください。
- 3) Handtalk: an ABC of finger spelling & sign language (手で話す:指文字と手話入門)/ Remy Charlip, Mary Beth, George Ancona. New York Four Winds Press c1974. 当館請求記号(Y5-A22)
(出版国 アメリカ) 英語の手話を写真入で説明しています。
- 4) La hendene snakke! : ordbok i tegnsprak (手を使って話そう:手話辞典) / Sigrun Nygaard Moriggi; illustrasjoner, Anna Fiske ; tegnspraktegninger, Johanne Hjorthol ; tegnsprakkonsulenter, Sonja Myhre Holten og Torill Lorentzen. Oslo Aschehoug c2006. 当館請求記号(Y5-B236)
(出版国 ノルウェー) 毎日の生活のなかで必要な言葉や言い回しの手話を楽しいイラストとともに紹介しています。
- 5) Moses sees a play (モーゼ、劇を見る) / Isaac Millman. New York Farrar, Straus and Giroux 2004 当館請求記号(Y1-B145)
(出版国 アメリカ) モーゼは聴覚障害を持っています。そのモーゼの学校に、手話で演ずる劇団が来ました。こんなのは初めてです。あたらしい友達もできました。モーゼたちは自分たちもこうした劇をやってみようと思います。本書で、簡単な手話ができるようになっていきます。
- 6) The printer (印刷工)/ Myron Uhlberg ; illustrated by Henri Sorensen. Atlanta Peachtree c2003 当館請求記号(Y17-B3702)
(出版国 アメリカ) 主人公の父親は新聞社の印刷工です。手話で自分の意思を伝えて暮らしていますが、手話のできない同僚もいて、しばしば不快な思いをすることもあります。ある日、印刷所が火事になります。父親は手話を使って同僚に火事を知らせます。火事のあと、印刷所はしばらく閉鎖されます。また仕事ができるようになったとき、同僚は手話で「ありがとう」と、父親に伝えます。著者の両親は聴覚障害者で、著者の最初の使用言語は、手話だったと記されています。
- 7) Matteo e sordo (マテオは耳が聞こえません) / tesiti e illustrazioni di Simonetta Anniballi. Roma Sinnos c2003. 当館請求記号(Y17-B8556)
(出版国 イタリア) マテオは沈黙の世界に暮らしています。他の人がしゃべっているのを見ていると魚が口をぱくぱくしているように見えます。マテオはしゃべる訓練と手話を学ぶようになります。手話は水の中でも使うことができます。

8) Nalohima the deaf tortoise (耳の不自由な亀のナロヒマ) / by Gcina Mhlophe and CLaSH; illustrated by Imke Weitzel. Windhoek Gamsberg Macmillan Publishers 1999.

当館請求記号 (Y17-B9381)

(出版国 ナミビア) 亀の卵がかえり、たくさんの亀が生まれました。そのなかの亀のナロヒマは耳が聞こえません。しゃべることもできません。でもナロヒマ自身はそれを知りません。兄弟・姉妹の亀が口を動かしている意味もわかりません。一人ぼっちのナロヒマは象に会います。ナロヒマは身振りで象に挨拶しました。すると象も長い鼻で応えてくれました。意思が通じたのです！旅を続けたナロヒマは、「僕の妹も耳が不自由なんだよ」という亀に会い、手話で意思を通じる方法があることを知ります。いまや、ナロヒマはみんなと手話で話し、歌も歌えるようになりました。

9) Of sound mind(健やかな心で)/ Jean Ferris. New York Farrar Straus Giroux 2001.

当館請求記号 (Y8-A6130)

(出版国 アメリカ) テオの家は、両親と弟が聴覚障害を持っています。必然的にテオは一家の通訳の役割を果たすようになりました。母親のパメラは彫刻家として成功しており、このこともテオの通訳としての負担を増しています。そうした日々の中で父親のトーマスが病気になります。動転した母親のパメラは父親の世話をテオに押し付け、テオの負担はますます大きくなります。テオには友達がいまいました。聴覚障害の父親を持つアイビーです。同じような事情を持つアイビーと話すことによって、テオは家族関係について話し合い、将来のことを考えることができるようになります。

(視覚障害)

10) Looking out for Sarah (サラを見守って)/ written and illustrated by Glenna Lang. Watertown, MA Talewinds c2001.

当館請求記号 (Y17-B1376)

(出版国 アメリカ) 副題を付けるとしたら「盲導犬 ペリーの一日」ということになるでしょうか。ペリーはサラの盲導犬で、サラのさまざまな活動のため、サラとあちこちに一緒に出かけます。ペリーの感じるさまざまな匂い、活動のなかで気をつけていること、などを通じて盲導犬について知ることができます。

11) Panda : a guide horse for Ann(パンダ : アンの盲導馬) / by Rosanna Hansen ; photographs by Neil Soderstrom with supplemental photographs as credited. Honesdale, Pa. Boyds Mills Press 2005.

当館請求記号 (Y5-B210)

(出版国 アメリカ) 盲導犬と同じように、盲人をガイドする小型の馬の話です。「パンダ」とは、その盲導馬の名前です。「パンダ」の日常が写真とともに紹介されています。子どもたちが「パンダ」のような盲導馬に出会ったとき、どのように接したらいいかも書いてあります。

12) The world at her fingertips : the story of Helen Keller(世界は彼女の指先に:ヘレン・ケラー物語)/ Joan Dash New York Scholastic Press 2001.

当館請求記号 (Y3-A120)

(出版国 アメリカ) 盲聾の複合障害を持っていたヘレン・ケラー(1880~1968)の青少年向け伝記です。

13) Out of darkness : the story of Louis Braille (暗闇を出て:ルイ・ブライユ物語) / by Russell Freedman ; illustrated by Kate Kiesler. New York Clarion Books c1997. 当館請求記号 (Y3-A35)

(出版国 アメリカ) 点字の発明者であるルイ・ブライユ(1809~1852)の青少年向け伝記です。ブライユは三歳の時に片目の視力を、五歳の時に感染症でもう一つの目の視力を失います。盲学校在学中に、軍の暗号にヒントを得て点字を考案します。盲学校に通っていた頃の、ブライユがいきいきと描かれています。著者のラッセル・フリードマンは、本書以外にも、リンカーン、ライト兄弟などの伝記を書き、ニューベリー賞、ゴールデン・カイト賞などを受けています。

(自閉症)

14) Ian's walk : a story about autism (イアン散歩:自閉症の話) / Laurie Lears ; illustrations by Karen Ritz. Morton Grove, IL A. Whitman 1998.

当館請求記号 (Y17-B3047)

(出版国 アメリカ) イアンは自閉症の男の子です。姉のジュリーはイアンと散歩に出かけます。他の子どもとはさまざまに違うイアン。公園に行ったイアンとジュリーはピザを食べることにします。ジュリーがピザを買ってもどつてくるとイアンがいまいません。必死で探すジュリーは、鐘の音を聞きます。イアンは鐘が好きなのです。急いで駆けつけると鐘の下にやはりイアンがいました。それからみんな家で帰ります。いろいろあったけど「散歩してよかったよね、イアン」。

15) Waiting for Benjamin : a story about autism (ベンジャミンを待つ : 自閉症の話) / Alexandra Jessup Altman ; illustrated by Susan Keeter. Morton Grove, Ill. A. Whitman & Co. 2008

当館請求記号 (Y17-B11364)

(出版国 アメリカ) アレクサンダーの後に生まれた弟のベンジャミンは自閉症でした。いつまでもしゃべらず、自分勝手な行動をとるベンジャミンにアレクサンダーはいらだちます。両親はベンジャミンにいつも多くの注意を払い、そのことでもアレクサンダーはいらだちます。でも、いろんなことのある後、アレクサンダーはベンジャミンをだんだんと受け入れることができるようになります。

(ダウン症)

16) Explaining -- Down's syndrome (説明する---ダウン症) / Angela Royston. London F. Watts 2009.

当館請求記号 (Y11-B667)

(出版国 イギリス) ダウン症について、児童にわかりやすく説明しています。さまざまな身体障害を子どもに説明する絵本のなかの一冊です。

17) En dag i prinsessan Victorias liv (王女・ビクトリアの暮らしのある一日) / [text], Petter Lidbeck ; [bild], Lisen Adbage. Stockholm Bonnier Carlsen c2004.

当館請求記号 (Y17-B11213)

(出版国 スウェーデン) スウェーデンの王女と同じ名前のビクトリアは、ふつうの女の子ですが、家庭では、両親に「王女さま」と呼びかけられ、王女さまのように大事にされています。ビクトリアはダウン症です。この本のなかでビクトリアは、毎日、どんなふうに暮らしているかを話します。

18) ABC for you and me(きみとぼくのABC) / written by Meg Girnis ; photography by Shirley Leaman Green. Morton Grove, Ill. Albert Whitman 2000.

当館請求記号 (Y17-B7877)

(出版国 アメリカ) ダウン症の子どもたちが、それぞれのアルファベットで始まるものと一緒に登場しています。

19) Josefientje mongolientje (ダウン症のジョセフィンちゃん) / Dolf Verroen ; met tekeningen van Natascha Stenvert. Amsterdam Van Goor 2004.

当館請求記号 (Y8-B5700)

(出版国 ドイツ) もともとオランダで出版された本です。ジョセフィンちゃんは僕のお姉さんですが、ダウン症で読み書きはうまくできません。でも、生活を楽しんでいます。タバコも吸うし、ビールも好きです。

(身体障害)

20) The storm (あらし) / ; illustrated by Mark Mohr. New York Cobblehill Books/Dutton c1995

当館請求記号 (Y17-A1271)

(出版国 アメリカ) 農場を持つ両親と暮らしているジョナサンは車椅子を使っています。ある日、両親がいないときに竜巻が農場を襲います。ジョナサンは馬を小屋に避難させて救います。ジョナサンは自分のなすべきことを立派に果たしたのです。

21) Finest kind (一番いい) / Lea Wait. New York Margaret K. McElderry Books c2006.

当館請求記号 (Y8-B6892)

(出版国 アメリカ) 19世紀中ごろの話です。豊かな生活を送っていた12歳のジェイクの一家の生活は父親の失業をきっかけに激変し、一家は田舎に引っ越します。ジェイクはだんだんと生活に慣れ、たくましく成長していきます。ジェイクの家では身障者の弟のフランクのことを秘密にしていました。でも、しかし、それは誤っていたことに気づきます。

22) Kaikki onnistuu (すべて大丈夫) / Susanna Huikari ; kuvitus, Mika Kolehmainen. Oulu Lohipadon erityiskoulu [2005]

当館請求記号 (Y17-B8700)

(出版国 フィンランド) マルクスとペッカは友達です。マルクスは車椅子を使っています。二人は近所の人にコンサートのチケットをもらいます。コンサートでは友達のペトラが受賞し、二人も舞台上がって歌を歌います。絵文字と、通常の文字が併記されています。

- 23) My pal, Victor (僕の友達 ヴィクトル) / written by Diane Gonzales Bertrand ; illustrated by Robert L. Sweetland ; translated by Eida de la Vega = Mi amigo, Victor / escrito por Diane Gonzales Bertrand ; ilustrado por Robert L. Sweetland ; traducido por Eida de la Vega. Green Bay, Wis. Raven Tree Press c2004. 当館請求記号 (Y17-B8016)
 (出版国 アメリカ) 英語とスペイン語併記の絵本です。僕とヴィクトルは大の仲良し。いろんなことを一緒にします。本書は、障害を持つ人を描いた絵本として紹介されていますが、最後のページを開けるまで、なぜこの本が障害を持つ人を描いた絵本なのかかわからないでしょう。最後のページを読んで、僕とヴィクトルにとって障害はいろんな特徴のうちのひとつにすぎないのかもしれないと納得してしまいます。
- 24) Tre scalini per Serena (セレナにとっての三段の階段) / Guido Quarzo ; illustrazioni di Orietta Brombin. Roma Riuniti 2003. 当館請求記号 (Y17-B4465)
 (出版国 イタリア) セレナは足が不自由です。他の人にとってはなんでもない段差もセレナにとってはとても大変です。でも、ある日、お父さんが手すりのついた三段の階段を作ってくれました。セレナはそれを使ってだんだんと段差を怖がらなくなりました。絵文字と、通常の文字が併記されています。
- 25) Dancing with Katya (カーチャと踊る) / Doris Chaconas ; illustrated by Constance R. Bergum. Atlanta Peachtree c2006. 当館請求記号 (Y17-B11398)
 (出版国 アメリカ) 1920年代後半の話です。アンナの妹のカーチャは小児麻痺になって、足が不自由になりました。歩けるようになるために、カーチャは足に補助具を付けてもらいますが、このいかつい補助具は「こんなんじゃダンスが踊れないわ」とカーチャを悲しませます。アンナはカーチャに美しい手袋を送ります。カーチャは踊る意欲を取り戻し、踊ります。巻末で、本書の挿絵画家ベルグムが自分の父親について書いています。ベルグムの父は落馬して、足が不自由になりましたが、決して障害に負けることはありませんでした。
- 26) Wir - Geschwister : ein Dialogbuch (私たちはきょうだいです : 対話の本) / Susanne Kremer. Gottingen Quirl c1997. 当館請求記号 (Y17-B2811)
 (出版国 ドイツ) 身体に障害を持つ子と、持たない子のきょうだいです。車椅子のマークと、足跡のマークで示されます。二人はいろんなことを一緒にしたり、でも、別のこともします。時に、うまくいかないこともあります。違う人間なのです。でも、二人はきょうだいです。
- 27) Sosu's call (ソウスの呼びかけ) / by Meshack Asare. Legon, Accra, Ghana Sub-Saharan Publishers 1997 当館請求記号 (Y17-A4902)
 (出版国 ガーナ) 海辺の村に住むソウスは足が不自由です。みんなのように気軽に外にでることはできません。大人たちが漁や畑仕事に出、ほかの子どもたちが学校に行ってしまったある日のこと、激しい風が村を襲い、海の水が押し寄せます。村に残っている年寄りや幼児が危険にさらされます。なんとか村人を呼び返さねばなりません。ソウスは太鼓をたたいて呼びかけることにします。ソウスの太鼓の音で村人は危機に気づき村に戻ります。危機は避けられました。ソウスは、一躍、有名になりました。そして車椅子がソウスのところに来ました。ソウスは車椅子で学校に行けるようになりました。
- 28) Shark girl (鯨少女) / Kelly Bingham. Cambridge, Mass. Candlewick Press 2007. 当館請求記号 (Y8-B7623)
 (出版国 アメリカ) 15歳のジェーンは海で泳いでいるときに鯨に襲われ、その結果、右腕切断を余儀なくされます。ジェーンは、右腕なしの生活に慣れていかねばなりません。そして将来のことも考えていかねばなりません。ジェーンのつぶやきの形で全体が書かれています。
- 29) The door in the wall (壁にあるドア) / by Marguerite de Angeli. New York Delacorte Press c1989. 当館請求記号 (Y8-A845)
 (出版国 アメリカ) 14世紀イギリスを舞台にした話です。王に仕える騎士の第一歩として小姓になるはずだった貴族の息子のロビンは、病気のために足が不自由になってしまいました。ロビンは歩く訓練から始めて、さまざまな教養や技能を身につけます。そして、戦うために馬に乗ったり駆けたりするのは別のやり方で王に仕える道を見つけることができました。

- 30) Charlie Wilcox (チャーリー・ウィルコック) / Sharon E. McKay. Toronto New York Stoddart Kids 2000. 当館請求記号 (Y8-B9113)
(出版国 カナダ) 月足らずで生まれたチャーリー・ウィルコックは足が不自由です。父親は海での漁の仕事に就かせるのは無理と判断して、チャーリーに高い教育を受けさせるべく遠くの学校に送ることにします。しかし、乗船する船を間違えたチャーリーは、ヨーロッパ戦線に送られる兵士の船に乗ってしまいます。そこからチャーリーの冒険が始まりました。

(筋ジストロフィー)

- 31) Stoner & Spaz (クスリをやってイカレてる) / Ron Koertge. Cambridge, MA Candlewick Press 2002. 当館請求記号 (Y8-B1509)
(出版国 アメリカ) 16歳のベン・バンククロフトの両親は早く亡くなり、過保護気味の祖母と暮らしています。ベンは筋ジストロフィーです。ベンは、薬常習者で派手な身なりをしたコレーン・ミノウミみたいな女の子は好きではありませんでしたが、偶然、彼女を話すようになり、お互いの孤独を知り、愛し合うようになり、二人は変わってゆきます。しかし、コレーンはまだ薬から抜け出ることができないでいます。

- 32) Marrying Malcolm Murgatroyd (マルコム・ムラガトロイドと結婚する) / Mame Farrell. New York Farrar, Straus and Giroux 1995 当館請求記号 (Y8-A680)
(出版国 アメリカ) 主人公のハンナから見ると、マルコム・ムラガトロイドはまったくさえない男の子です。でも、ハンナの両親とマルコムの両親は親友同士。だからマルコムとハンナも小さい頃からの知り合いなのです。事情を知らないクラスメートは、知り合いというだけの二人なのに、「マルコム・ムラガトロイドと結婚するんだらう」と、ハンナをからかいます。ハンナはとても迷惑です。でも、ハンナの弟イアンが筋ジストロフィーになって車椅子の生活を余儀なくされるようになった時、弟を励ましたり楽しませてくれたのはマルコムでした。ハンナはマルコムを見直します。そして、将来は「大学に行くこと、筋ジストロフィーの人達のための仕事をする、できたら、マルコム・ムラガトロイドみたいな人と結婚すること」と思うようになります。

- 33) Reaching for sun(太陽に手を伸ばす) / Tracie Vaughn Zimmer. New York Bloomsbury Children's Books 2007. 当館請求記号 (Y8-B7612)
(出版国 アメリカ) テーンエイジャーのジョシーは筋ジストロフィーです。母親とお祖母さんと一緒に暮らしています。母親とお祖母さんは、ジョシーを愛してくれますが、ジョシーをそのまま受け入れてくれるわけではありません。まわりに住む子どもたちはあまりよくない子か、ジョシーを無視するかで、友達はいません。そんなジョシーの前に同じ年頃のジョーダンが現れました。二人は友達になります。

(脳性麻痺)

- 34) Moi, c'est Julia, et toi? : la vie quotidienne avec un handicap moteur cerebral (私はジュリア、であなたは? : 脳性麻痺障害を持つ毎日) / Evi Graf, Rolf Imbach ; [traduit par Laurence Junier-Vougl]. Soleure ASIMC, Association suisse en faveur des infirmes moteurs cerebraux c1996. 当館請求記号 (Y5-A196)
(出版国 スイス) 脳性まひとは何か、脳性まひを持って日常を送るとはどのようなものを説明しています。スイスの脳性まひ協会出版です。

(小児麻痺)

- 35) Enemy at the gate(門のところの敵) / Philippa Werry. Auckland [N.Z.] Scholastic 2008. 当館請求記号 (Y8-B9094)
(出版国 ニューージーランド) 1930年代から1940年代にかけてのニューージーランドを舞台にした小説です。その頃、ニューージーランドでは小児麻痺が流行しました。学校閉鎖、人の集まる場所への出入り禁止などが起こります。主人公・トムの妹のフローレンスも感染してしまいます。小児麻痺に対する偏見のなかで一家はつらい思いもします。しかし、トムもフローレンスもそれに負けることはありません。

36) Small steps : the year I got polio (小さな歩み:私が小児麻痺にかかった年) / Peg Kehret. Morton Grove, Ill. Albert Whitman 1996. 当館請求記号 (Y11-A41)
(出版国 アメリカ) 著者は、13歳の時、小児麻痺にかかり、身体が不自由になります。この本は、著者が、リハビリなどで復帰する過程を描いています。本書出版時に著者は50歳を過ぎていましたが、まだ後遺症に悩まされており、小児麻痺との戦いはまだ終わっていないと結んでいます。

(知的障害)

37) Du er vel vakker (君は美しい)/ Erna Osland ; teikningar av Johanne Marie Hansen-Krone. Oslo Det Norske Samlaget c2006. 当館請求記号 (Y8-B7089)
(出版国 ノルウェー) ハンナとヘルマンは出会って、恋におちます。二人は互いに強い愛をいただきます。ヘルマンは家庭を持ち、父親になりたいと思います。でも二人は知的障害を持っています。事態はそれほど簡単ではありません。

(強迫神経症)

38) Mr. Worry : a story about OCD (心配屋さん:強迫性障害のはなし) / Holly L. Niner ; illustrated by Greg Swearingen. Morton Grove, Ill. A. Whitman 2004. 当館請求記号 (Y17-B8078)
(出版国 アメリカ) ケヴィンはいろんなことが気になります。そして、わかっているのに何回も何回も確かめずにはいられません。心配ばかりしていて、楽しくありません。毎日の生活も大変です。両親の勧めで、お医者さんに行くことにしました。お医者さんは、ケヴィンのなかにいる心配屋さんとのようにつきあったらいいか教えてください。ケヴィンはだんだんと心配屋さんには煩わせられないようになりました。

(統合教育)

39) Stol pa meg, sa stolen (私を信じて、とその椅子は言いました) / Anette Diesen. Tonsberg Likeverd c2000. 当館請求記号 (Y6-B76)
(出版国 ノルウェー) 幼稚園にはたくさんの椅子があります。ある日、その椅子のなかに車椅子が入ってきました。椅子たちは動揺します。車椅子は「お前は椅子じゃない。車だろう。俺たちは車と一緒にはいられないよ」と言われてしまいます。車椅子は部屋から出て運動場に行きます。でも、最後には自分は椅子だということをわかってもらって他の椅子と一緒に部屋にすることができるようになりました。絵文字付。

40) Gemeinsam sind wir Klasse! (私たちは一緒) / Franz-Joseph Huainigg mit Illustrationen von Verena Ballhaus. Wien A. Betz c2007. 当館請求記号 (Y17-B9962)
(出版国 オーストリア) さまざまな子どもたちが同じ教室で学ぶ統合教育を扱った絵本です。さいごにダウン症とはなにか? 統合教室とはなにか? 正常とはなにか? などの質問とそれについての解説があります。